

平成28年度 事業報告書

平成28年10月1日 から 平成29年9月30日まで

特定非営利活動法人 m a g g i e s t o k y o

1 事業の成果

(1) 相談・支援事業

マギーズ東京は10月10日パイロットプロジェクトとしてオープンし、ひとりひとりにゆっくり話を聴き、一緒に考え、本人が自分の力を取り戻した道を見出していくサポートを行っている。（無料）

○来訪者：連日約25人月平均500人1年間で6000人超（含見学・取材。オープニングフェス1000人を除く）

○相談支援の実践を蓄積：日々終了後のリフレクション、月1回のヒューマンサポートミーティング

○英国でのセンター長研修（後半）3月、ファンドレイズ研修7月『Aview from the front Line』翻訳

(2) セミナー事業

○オープン記念講演会「英国マギーズセンター20年のあゆみとサポートのエッセンス」10月11日約200人

○新たな相談支援モデル「マギーズ流サポート研修・入門編」4日間 定員30人6月9日に開催（有料）

(3) 普及啓発事業

○オープニングセレモニー10月10日午前、厚生労働大臣、江東区長、日本看護協会会長、駐日英国大使館らのテープカット、マギーズ本部およびエジンバラセンター長 テレビ・新聞・雑誌など多数掲載

○オープンマギーズ&ファーストデイフェスティバル10月10日午後 約1000人参加

○活動の啓発普及のための週末見学会「オープンマギーズ」を毎月1回 継続開催

○情報誌『HUG』、ホームページ・フェイスブック、グッズ販売、取材対応による情報提供・普及啓発

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	事業費額（千円）
相談支援事業	○がんに影響を受ける患者・家族・友人・医療者などが必要としている、新たな相談支援モデルとまどい孤独なとき訪れ、また自分自身を取り戻し、自分で決定し歩んでいけるような相談支援の実践 ○くつろぎ語りたくなる相談支援の環境整備 ○相談支援の実践の蓄積 ○英国マギーズ研修 マギーの著書発行	月～金 10～16時 3/7	東京 英国	約40人 看護師 心理士 保健師 栄養士 ボランティア等	・がん経験者 家族・友人・医療者、 (近隣、国内各地、海外) 医療者・報道関係 約6000人 5人×2回	37,875
セミナー事業	○講演会「英国マギーズセンター20年のあゆみとサポートのエッセンス」 ○「マギーズ流サポート研修・入門編」	10/11 6/9	東京	約30人	がん経験者等 約200人 30人×2回	255
普及啓発事業	○オープニングセレモニー10・10午前約100人 ○オープンマギーズ&ファーストデイフェスティバル10・10午後 約1000人 ○週末見学会「オープンマギーズ」毎月約80人 ○情報誌『HUG2016』の刊行 ○ホームページ・フェイスブック ○マギーズオリジナルグッズ製作・販売	10/10 10/10 毎月 10月 常時 常時	東京	約100人	がん経験者 医療関係者 市民等 約2000人以上 (HP/FB閲覧は除く)	4,494

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
実施せず					